

大きな声で英語の文章を読もう、ていねいな文字で英語を写そう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

「どうしたら一生使える英語が中学と高校で身につくか」が、私の最大の研究テーマでした。結論めいたことがわかりかけてきましたので、少しずつ説明させていただきます。

塾生の皆様のみならず、保護者の皆様や社会に出られた方々にも、役に立つかも知れませんので、是非お読みの上、実際にやってみて下さい。

2. 一生使える英語を身につけるには

(1) 中学や高校、学習塾で勉強している英語に余り間違った内容はありません。なぜ日本人は英語が不得意なのかといえば、中学や高校、学習塾でせっかく習った内容が、本当の意味で身につけていないからです。「とりあえず、中間・期末や入試で、よい点が取ればいいや」とテスト対策で勉強をして、テストの終わった後に本格的な勉強、つまり英語が身につくための勉強をしていないからです。

(2) それでは、英語を身につけるために、「テスト」が終わってからの方がよいことは何か。せっかくテストのために勉強をして、ある程度まで内容がわかったのですから、まずは「大きな声でひたすら習った英文を読む」ことをおすすめします。教科書の1課から、習ったところまで大きな声で一日に何回も読むことです。

(3) 次に、よく読み込んだ文章を、何回もていねいに書いてみることに。習った文章が「口をついて出る」「手が自然に動き習った文章を書いてしまう」。試験が終わったらここまでまよわずやること。

3. おわりに

(1) よく意味がわかった内容の文は、大きな声でよく読めるまでにし、口をついて出るようにしておくこと。ゆっくりていねいに書く「くせ」をつけること。

(2) とりあえず、この二つの作業をコツコツやるだけで、試験だけ受け、その後何もしない人と比べ格段に実力がつきます。

(3) 「努力はむくわれる」のが語学の勉強です。コツコツがんばりましょう。